



ケアマネまさ君の介護案内① 「ケアマネージャーの仕事につ いて」Ⅱ

前号に引き続き、ケアマネージャーに
ついて書きます。

では、その「ケアマネージャー」
として働いている人たちは、



どのような人でしょうか？

ケアマネージャーとして働くために
は「ケアマネージャー（介護支援専門
員）」の資格が必要です。資格を取得
するためには、都道府県の実施する

「介護支援専門員実務研修受講試験」
に合格し、「介護支援専門員実務研修」
を修了する必要があります。その試験

の受験資格として、法定資格（介護福
祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、
医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助
産師、看護師、准看護師、理学療法士、
作業療法士、視能訓練士、義肢装具士、
歯科衛生士、言語聴覚士、あん摩マッ
サージ指圧師、はり師、きゆう師、柔
道整復師、栄養士）の所持と、5年以
上の実務経験が必要になります。この
ように、ケアマネージャーは必ず基礎
になる資格を持っており、必ずその職
種での実務経験があります（前回、ケ
アマネージャーは介護職ではないと言っ

たのはこのためです。ちなみにこの試験
の受験者のほぼ5割は介護福祉士です。
仮に新人のケアマネージャーだったとし
ても、それ以前に専門の職種での経験が
必ず5年以上あるということなので、誰
が担当になっても安心出来ると思います。
ですが、前述の通りに様々な基礎資格
のケアマネージャーが居るので、そのケ
アマネージャーによつて得意な分野や苦
手な分野があるのも事実です。それでも
試験に合格して研修を修了した上で、ケ
アマネージャーは日頃から受けなければ
いけない研修がたくさんあり、誰でも職
務に必要な最低限の知識は有していると
言えると思います。

そして、利用者や家族からの相談を受
けたケアマネージャーは、その利用者の
状況や環境を見てどのような支援が必要
かの判断を行い、その利用者に適した
「オーダーメイドのケアプラン」を作成
することになります。一人暮らしか、家
族と同居しているのか、排泄の介助がい
るのか、安全に入浴できているのか、薬
が飲めているか、食事が摂れているか。
できることできないこと、困っている
こと等その方の状況は様々です。
「買物に行けるようになりたい。」
「浴槽に入りたい。」等、それを上手く
ケアマネージャーに伝えないと望んだよ

うな生活を送れるケアプランになりませ
ん。如何にケアマネージャーに相談する
かで、その後の生活が左右されてしま
うわけです。よつて、ケアマネージャーと
は何でも相談出来る間柄であることが望
まれます。

では、そのように今後の生活における
重要な相談相手であるケアマネージャー
ですが、担当するケアマネージャーを選
ぶ権利は利用者側にあります。必ずしも
地域包括や事業所から紹介されたケアマ
ネージャーに担当してもらわないといけ
ないということはありません。知り合い
のケアマネージャーにお願いしたり、口
コミ等で探してくることも出来ます。仮
に一旦担当が決まっても、合わないと思っ
たら交代することは出来ます。

【まとめ】

介護が必要になったら、
「介護認定」を受けましょう。
介護認定の申請は、役所の窓
口や「地域包括支援センター」で行うこ
とが出来ます。介護認定を受けたら、ケ
アマネージャーに相談して「ケアプラン」
を作りましょう。



その人らしいあり方で馴染みのある暮
らしの中で安心して穏や
かに日々を過ごせるよう
にするために。

